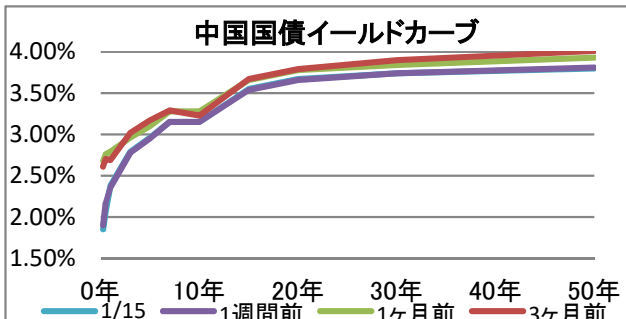
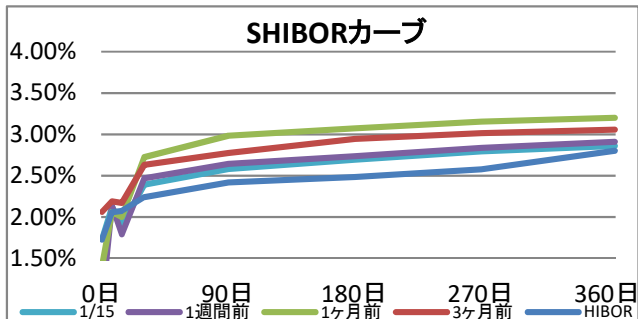


① 市場概況

基準レート		2021/1/15	(前週末比)
人民元基準値	USD/CNY	6.4623	-0.0085
	JPY/CNY	6.2263	-0.0068
SHIBOR	3M	2.5810%	-0.0640%
国債利回り	10年	3.15%	+0.00%
上海総合指数		3,566.38	-3.73



(1) 概況

米国ではバイデン次期大統領就任に向けた政策発表を含む動きがあり、米中ともに銀行決算は上振れしたものの既に高値圏にある株式市場は上値の重い展開となっており、中国金融市场では春節休暇が意識される中で新規材料も乏しく、小動きとなった。

中国の金融当局は、ネット個人預金業務に関する通知を发出し、銀行に対して外部のインターネットネットプラットフォームを通じた個人預金業務を禁止し、市場秩序維持と金融リスク対応に加え、昨年9月の金融機関に対するデータ管理法と合わせて消費者保護を強化する方針を明確にしている。

アジアインフラ投資銀行（AIIB）は16日に設立5周年を迎えており、中国では習近平主席がアジアにおける開発需要をサポートする同行を参加国とともに積極的に支援する姿勢であることを伝える報道が多くみられる。

(2) 金融調節

中国人民銀行は、リバースオペ期日550億元とMLF期日3,000億元に対し、新規リバースオペ160億元と新規MLF5,000億元（1/25のTMLF期日2,405億元を含む対応）の実施により差し引き1,610億元を供給したものの、1/25のTMLF期日を考慮すると実質的には795億元の資金吸収となっている。ただし、新規リバースオペによる少額の資金供給を継続することにより引き締め懸念を牽制する姿勢は維持している。

(3) 主な経済指標

- ・CPI (12月) は、前年比+0.2% (11月-0.5%) と前月の2009年以来のマイナスからプラスに転じている。ただし、その内訳は食品が生鮮食料品の寒波による上昇を主因に+1.2%となる一方、非食品は前年並みとなっており、一時的な要因を除くと価格上昇圧力は限定的。
- ・PPI (12月) は、前年比-0.4% (11月-1.5%) と国際的な原油価格上昇による燃料や化学品等の価格上昇を主因に前年比でのマイナス幅が縮小している。

② 資金市場

(1) 人民元資金市場

	SHIBOR	無担保資金	レポ	NCD AAA
ON	1.7380%	1.7380%	1.7500%	
1W	2.1240%	2.3000%	2.1000%	1.7000%
2W	1.9000%	2.1000%	2.5000%	1.8000%
1M	2.3900%	2.3000%	2.6500%	1.9500%
3M	2.5810%	4.2500%	5.5000%	2.4000%
6M	2.6940%	3.7500%		2.6300%
9M	2.7950%			2.6900%
12M	2.8590%	3.0590%		2.8300%

中国人民銀行による年末越え資金の吸収は乗り越えたものの、新規MLF実施額が期日到来額（1/25分を含む）を下回ったことから金融政策の引き締め方向へのシフトを懸念する声も聞かれたが、中国人民銀行高官が景気回復への必要な措置実施と急激な政策シフトがないことを再確認したこともあり、混乱が生じる状況とはなっていない。ターム物の金利水準も落ち着いており、出合いは春節休暇を跨ぐ1ヶ月ものが2.50%程度に上昇して取引されている以外は限定的。

NCDも活発な取引が続いており、ターム物の金利水準は1ヶ月2.00%前後、3ヶ月2.40%前後、6ヶ月2.60%前後、1年2.80%前後での取引が続いている。

(2) 米ドル資金 (本土内)

	BID	OFFER
ON	0.02%	0.03%
1W	0.04%	0.05%
1M	0.12%	0.13%
3M	0.25%	0.30%
6M	0.45%	0.50%
12M	0.65%	0.70%

春節休暇が意識されて資金需給がややタイトになりつつあることから、金利水準はやや上昇しているものの取り急ぐ向きは少なく、金利水準も1ヶ月が0.15%前後、3ヶ月では0.35%水準まで小幅に上昇する程度に止まっている。

③人民元債券市場

	国債	地方債AAA	金融債AAA	社債AAA	社債AA
3M	1.85%	1.94%	2.43%	2.60%	3.33%
6M	2.07%	2.11%	2.63%	2.77%	3.50%
1Y	2.38%	2.39%	2.78%	2.98%	3.73%
3Y	2.79%	2.93%	3.29%	3.43%	4.20%
5Y	2.96%	3.10%	3.52%	3.66%	4.58%
10Y	3.15%	3.51%	3.84%	4.00%	4.96%

債券市場では、短期債を中心に利回りの低下が続いていたものの、中国人民銀行が金曜日に実施した新規MLFを金融引き締め方向へのシフトの始まりとして警戒する向きもあって前週末比での利回り低下幅は縮小したが、調整の範囲内に止まっている。

イールドカーブは、週前半の利回り低下から金融政策シフト懸念再燃により低下幅が縮小に転じたことから、利率債ではスティーピングの巻き戻しにより小幅なフラットニングに転じたが、信用債ではスティーピングが続いている。クレジットスプレッドは、利率債の利回りが小幅ながら上昇に転じたことから縮小に転じている。

④先物為替市場

	USD / CNY
1W	25.1 / 26.0
1M	135.0 / 137.0
3M	361.0 / 364.0
6M	680.0 / 688.0
9M	1005.0 / 1020.0
12M	1338.0 / 1342.0

対ドル基準レートは6.4623と前週末比-85pipsのドル安元高、対円基準レートは6.2263と同-68pipsの円安元高と、米国長期金利上昇等によるドル安修正もあって小幅な人民元高を映じた基準値設定となっている。国内市場でも、週初のドル買戻しによる6.50近辺への上昇から週半ばにかけて投資資金流入等により6.45台まで低下に転じていたが、この水準では再度ドル買いが入って6.47台で週末を迎えるレンジ相場となっている。

先物は、人民元短期金利の下げ止まりからスワップ幅は拡大に転じている。

⑤金利スワップ

	Quarterly 7d Repo A/365	Quarterly 3M SHIBOR A/365 A/360	Annually O-N SHIBOR A/365 A/360
3M	2.34%		1.83%
6M	2.40%	2.73%	1.93%
9M	2.44%	2.80%	1.98%
1Y	2.45%	2.86%	2.08%
3Y	2.68%	3.16%	2.32%
5Y	2.86%	3.38%	
7Y	2.99%	3.53%	
10Y	3.14%	3.71%	

債券利回りが金曜日に前日比で上昇に転じたことから、スワップ金利も上昇に転じて前週末を上回る水準まで上昇。債券利回りとの金利差であるスワップスプレッドも、債券利回りが短期を中心に前週末比では低下している中でスワップ金利が上昇したことから短期を中心に総じて拡大している。

◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡りする書面や目論見書をよくお読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関関東財務局長（登金）第526号 日本証券業協会加入